

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的 I 数的推理	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	5 0 時間	
授業回数	2 5 回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	題意を理解し解答することで、論理的思考力と数的処理力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	方程式（方程式、不定方程式）
	2	方程式（不等式、過不足算）
	3	整数・計算パズル（約数と倍数）
	4	整数・計算パズル（割り算の余り、整数の性質）
	5	整数・計算パズル（数列、n 進法）
	6	整数・計算パズル（その他、整数に関する問題）
	7	科目試験第 1 回
	8	割合と比（割合、比）
	9	割合と比（比）
	10	割合と比（売買算）
	11	割合と比（濃度）
	12	割合と比（濃度）
	13	速さ（速さ）
	14	速さ（旅人算）
	15	速さ（旅人算、通過算）
	16	速さ（流水算、時計算）
	17	科目試験第 2 回
	18	その他文章題（仕事算、給排水算）
	19	その他文章題（仕事算、給排水算、ニュートン算）
	20	その他文章題（年齢算）
	21	その他文章題（平均算）
	22	場合の数（場合の数）
	23	場合の数（順列、重複組合せ、円順列）、確率（事象と確率）
	24	確率（赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値）
	25	科目試験第 3 回
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的Ⅱ 判断推理	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	論理（対偶と三段論法）
	2	論理（ド・モルガンの法則、論理と集合）
	3	集合の要素（ベン図）
	4	集合の要素（キャロル表、交わりの最小値）、順序（順序の確定）
	5	順序（順序の変動）
	6	順序（順序の数値条件）
	7	順序（時計のずれ）、方位・位置（位置・座席表）
	8	方位・位置（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて）
	9	科目試験1回目、方位・位置（円卓・議長席・道をへだてて）
	10	方位・位置（方位・作図）、対応（対応関係）
	11	対応（対応関係、スケジュール表）
	12	対応（スケジュール表、対応の数値条件、やりとり）
	13	勝敗（リーグ戦、トーナメント戦）
	14	うそつき
	15	暗号
	16	推理・手順（他人の判断から判断する1）、資料解釈（実数）
	17	推理・手順（他人の判断から判断する2、カードゲーム）、資料解釈（割合、指数、前年比）
	18	推理・手順（石取りゲーム、てんびん）、資料解釈（割合、指数、前年比）
	19	推理・手順（手順）、資料解釈（増加率）
	20	資料解釈（いろいろな資料）、科目試験2回目
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的Ⅲ 空間把握	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	図形（平面・立体ともに）から物体の形状を正しく読み解く力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡）
	2	道順・一筆書き・位相（道順、一筆書き・位相）、平面構成（折り紙）
	3	平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成）
	4	正多面体・展開図（正多面体、展開図）
	5	立体構成（サイコロ）
	6	立体構成（積木の問題、投影図）
	7	科目試験1回目
	8	立体構成（立体の切断、回転体）
	9	平面図形の計量（角度）
	10	平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理）
	11	平面図形の計量（相似比）
	12	平面図形の計量（面積比）
	13	平面図形の計量（面積比）
	14	科目試験2回目
	15	平面図形の計量（円）
	16	平面図形の計量（円、扇形と移動図形）
	17	立体図形の計量
	18	立体図形の計量
	19	立体図形の計量
	20	科目試験3回目
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎社会科学Ⅰ 政治	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	政治の基本概念（政治と権力、近代国家）、政治過程論（立法過程）
	2	政治の基本概念（国家論）、政治過程論（大衆社会の政治）、政治制度論（権力分立論）
	3	政治制度論（議院内閣制、大統領制、各国の政治制度）
	4	日本国憲法の特色、基本的人権総論
	5	幸福追求権、平等権、精神的自由権
	6	自由権
	7	社会権、受益権
	8	憲法改正の手続き、国会の機構と運営
	9	国会の機構と運営
	10	内閣の機構と運営
	11	裁判所の機構と運営
	12	裁判所の機構と運営、地方自治
	13	地方自治
	14	政治過程論（政党と政党制、圧力団体）
	15	政治過程論（選挙制度）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎社会科学Ⅱ 経済・社会	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	金融政策・財政政策・外国為替など、経済の基礎知識、労働問題・環境問題など、社会の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経済及び社会の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	経済社会の変容
	2	現代の企業
	3	現代の市場
	4	国民所得
	5	経済成長と景気循環
	6	通貨制度と金融政策
	7	財政制度と財政政策
	8	財政制度と財政政策
	9	日本経済の動向
	10	貿易と外国為替
	11	貿易と外国為替
	12	国際経済の動向
	13	国際経済の動向
	14	経済分野総復習
	15	社会理論
	16	労働問題
	17	社会保障
	18	環境問題
	19	環境問題
	20	国際関係
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅰ 文理・国語	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	文法などの国語分野の基礎的な知識と文章読解力の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	要旨把握1、文法1、四字熟語1、ことわざ1、文学史1
	2	要旨把握2、文法2、四字熟語2、ことわざ2、文学史2
	3	内容合致1、文法3、四字熟語3、ことわざ3、文学史3
	4	内容合致2、文法4、四字熟語4、ことわざ4、文学史4
	5	文章整序1、文法5、四字熟語5、ことわざ5、文学史5
	6	空欄補充2、文法6、四字熟語6、ことわざ6、文学史6
	7	空欄補充1、文法7、四字熟語7、ことわざ7、文学史7
	8	空欄補充2、文法8、四字熟語8、ことわざ8、文学史8
	9	文章理解・国語演習
	10	文章理解・国語演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅱ 社会科学	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	政治・経済の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	公務に必要な社会科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	オリジナルテキスト、スタンダード問題集	
特記		
授業計画	１	政治の基本理念、政治制度論
	２	基本的人権①
	３	基本的人権②
	４	基本的人権③
	５	国会の機構と運営
	６	内閣の機構と運営
	７	裁判所の機構と運営
	８	地方自治、選挙制度
	９	現代の企業、現代の市場
	１０	国民所得
	１１	通貨制度と金融政策
	１２	通貨制度と金融政策
	１３	財政制度と財政政策
	１４	貿易と外国為替
	１５	国際経済の動向
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅴ 知能系科目総合	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	問題演習を通じて数的推理・判断推理の総復習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	数的推理・判断推理分野の基礎知識を定着させる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	数的推理の基礎知識の復習（方程式）
	2	数的推理の基礎知識の復習（不等式）
	3	数的推理の基礎知識の復習（整数）
	4	数的推理の基礎知識の復習（整数）
	5	数的推理の基礎知識の復習（計算パズル）
	6	数的推理の基礎知識の復習（比）
	7	数的推理の基礎知識の復習（比）
	8	数的推理の基礎知識の復習（速さ）
	9	数的推理の基礎知識の復習（速さ）
	10	数的推理の基礎知識の復習（仕事算）
	11	数的推理の基礎知識の復習（場合の数）
	12	数的推理の基礎知識の復習（場合の数）
	13	数的推理の基礎知識の復習（確率）
	14	数的推理の基礎知識の復習（確率）
	15	判断推理の基礎知識の復習（論理）
	16	判断推理の基礎知識の復習（集合と要素の個数）
	17	判断推理の基礎知識の復習（集合と要素の個数）
	18	判断推理の基礎知識の復習（順序）
	19	判断推理の基礎知識の復習（順序）
	20	判断推理の基礎知識の復習（対応）
	21	判断推理の基礎知識の復習（対応）
	22	判断推理の基礎知識の復習（位置と方位）
	23	判断推理の基礎知識の復習（位置と方位）
	24	判断推理の基礎知識の復習（勝ち負け）
	25	判断推理の基礎知識の復習（カード・ゲーム）
	26	判断推理の基礎知識の復習（推理・手順）
	27	判断推理の基礎知識の復習（暗号）
	28	判断推理の基礎知識の復習（家系図）
	29	数的推理 総まとめ試験
	30	判断推理 総まとめ試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅵ 知識系科目総合	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	問題演習を通じて知識系科目全体の総復習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	公務に必要な一般教養の幅広い知識を定着させる	
教科書	スタンダード問題集・配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	社会の知識の総復習（社会理論・労働問題）
	2	社会の知識の総復習（社会保障・労働問題）
	3	社会の知識の総復習（国際関係）
	4	政治 第1回まとめ試験
	5	政治の基礎知識の復習（国家）
	6	政治の基礎知識の復習（政治制度）
	7	政治 第2回まとめ試験
	8	政治の基礎知識の復習（基本的人権）
	9	政治の基礎知識の復習（基本的人権）
	10	政治 第3回まとめ試験
	11	政治の基礎知識の復習（統治機構）
	12	政治の基礎知識の復習（統治機構）
	13	政治の基礎知識の復習（地方自治）
	14	政治 第4回まとめ試験
	15	政治の基礎知識の復習（選挙制度）
	16	政治の基礎知識の復習（選挙制度）
	17	経済 第1回まとめ試験
	18	経済の基礎知識の復習（現代の企業）
	19	経済の基礎知識の復習（市場）
	20	経済の基礎知識の復習（国民所得）
	21	経済 第2回まとめ試験
	22	経済の基礎知識の復習（金融政策）
	23	経済の基礎知識の復習（財政政策）
	24	経済の基礎知識の復習（日本経済の動向）
	25	経済 第3回まとめ試験
	26	経済の基礎知識の復習（貿易と外国為替）
	27	経済の基礎知識の復習（国際経済の動向）
	28	経済の基礎知識の復習（国際経済の動向）
	29	政治 総まとめ試験
	30	経済 総まとめ試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	総合教養演習Ⅰ 基礎教養	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、数的推理・政治・文章理解の知識を学ぶ	
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	一般教養力検定２級に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	分野別学習オリジナルプリント、模擬試験	
特記		
授業計画	１	出題科目の分野別学習 １
	２	出題科目の分野別学習 ２
	３	出題科目の分野別学習 ３
	４	出題科目の分野別学習 ４
	５	出題科目の分野別学習 ５
	６	出題科目の分野別学習 ６
	７	出題科目の分野別学習 ７
	８	出題科目の分野別学習 ８
	９	出題科目の分野別学習 ９
	１０	一般教養力検定２級タイプの模擬試験 １
	１１	模擬試験の解説（知能系科目）
	１２	模擬試験の解説（知識系科目）
	１３	一般教養力検定２級タイプの模擬試験 ２
	１４	模擬試験の解説（知能系科目）
	１５	模擬試験の解説（知識系科目）
	１６	一般教養力検定２級タイプの模擬試験 ３
	１７	模擬試験の解説（知能系科目）
	１８	模擬試験の解説（知識系科目）
	１９	一般教養力検定２級タイプの模擬試験 ４
	２０	模擬試験の解説（知能系科目）
	２１	模擬試験の解説（知識系科目）
	２２	一般教養力検定２級タイプの模擬試験 ５
	２３	模擬試験の解説（知能系科目）
	２４	模擬試験の解説（知識系科目）
	２５	一般教養力検定２級タイプの模擬試験 ６
	２６	模擬試験の解説（知能系科目）
	２７	模擬試験の解説（知識系科目）
	２８	一般教養力検定２級タイプの模擬試験 ７
	２９	模擬試験の解説（知能系科目）
	３０	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	総合教養演習Ⅱ 実践教養	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、数的推理・判断推理・空間把握・文章理解・政治・経済・社会の知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	一般教養力検定1級に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	分野別学習オリジナルプリント、模擬試験	
特記		
授業計画	1	出題科目の分野別学習 1
	2	出題科目の分野別学習 2
	3	出題科目の分野別学習 3
	4	出題科目の分野別学習 4
	5	出題科目の分野別学習 5
	6	出題科目の分野別学習 6
	7	出題科目の分野別学習 7
	8	出題科目の分野別学習 8
	9	出題科目の分野別学習 9
	10	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 1
	11	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 2
	14	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 3
	17	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 4
	20	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 5
	23	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 6
	26	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 7
	29	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務 I	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	実務経験者の講義を受け、研究および発表を通じて防災に関する取り組みを学ぶ	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	防災に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、グループワークを通じて組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	自衛隊大分地方協力本部の職員による防災に関する実務経験に基づく講義と演習	
授業計画	1	行政の仕組みと仕事内容（講義）
	2	防災に対する取り組み（講義）
	3	課題研究 1
	4	課題研究 2
	5	研究発表準備
	6	研究発表（プレゼンテーション）
	7	公務員に求められる資質（講義）
	8	職業実務演習（60分）
成績評価方法 （試験実施方法）	研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評を基に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 2 級に合格する	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名 1
	2	訓読み・送り仮名 2
	3	熟語 1
	4	熟語 2
	5	熟語 3
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正 1
	8	誤字訂正 2、類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方 1
	11	漢字の意味・使い方 2
	12	項目別模擬試験 1
	13	項目別模擬試験 2
	14	直前模擬試験 1
	15	直前模擬試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅰ 地理	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	気候、地形、世界各国の産業など地理の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な地理の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	１	世界の地形（山地と平野）
	２	世界の地形（様々な地形）
	３	世界の気候（熱帯、乾燥帯、冷帯、寒帯）
	４	世界の気候（温帯）
	５	地理演習
	６	世界の農業（アジア、ヨーロッパ）
	７	世界の農業（アメリカ、オセアニア）
	８	世界の資源
	９	世界の工業
	１０	地理演習
	１１	世界地誌（アジア、アフリカ）
	１２	世界地誌（ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア）
	１３	生活と地域
	１４	日本地誌
	１５	地理演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅱ 日本史	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な日本史の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	大和政権と大化の改新
	2	平安時代
	3	平安時代の文化
	4	鎌倉時代
	5	室町時代
	6	鎌倉時代と室町時代の文化
	7	封建社会の確立
	8	江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革）
	9	江戸時代（幕末）
	10	明治維新
	11	立憲体制の確立
	12	近代文化の発展
	13	大正時代
	14	昭和時代
	15	日本史演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅲ 世界史	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	中国の歴代王朝と、ヨーロッパ世界を中心とした世界の歴史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な近隣国および近代歴史の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	四大文明、オリエント世界の動向、殷、周、秦、漢
	2	魏晉南北朝、隋、唐
	3	宋、元
	4	明、清
	5	清の崩壊
	6	ヴェルサイユ体制
	7	第二次世界大戦
	8	第二次世界大戦後の世界
	9	中世ヨーロッパ、ルネサンス、大航海時代、宗教改革
	10	絶対主義
	11	イギリス市民革命、アメリカ独立革命
	12	フランス革命
	13	ウィーン体制
	14	19世紀のヨーロッパ
	15	第一次世界大戦
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅰ 生物	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	生体から自然環境まで、幅広い生物分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	生体における知識を身に着ける。自然環境や生態系への理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	生体の構造 1
	2	生体の構造 2
	3	生体内の代謝 1
	4	生体内の代謝 2
	5	生殖と発生
	6	遺伝と変異
	7	刺激の受容と反応
	8	内部環境の恒常性と調節
	9	からだの防衛反応
	10	生物の集団・生物の進化と系統
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅱ 地学	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２０時間	
授業回数	１０回	
授業概要	地球の内部構造から宇宙まで、幅広い地学分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	地球を中心とした、自然環境を理解し知識を広げる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	１	地球の姿と動く大地
	２	地震
	３	岩石
	４	大気と海洋
	５	気象現象、日本の四季
	６	太陽系と宇宙の構造
	７	太陽系と惑星
	８	恒星の世界
	９	地学演習
	１０	地学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅲ 物理	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	電気や力学など物理分野の基礎的な知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現
	2	力 1
	3	力 2、運動方程式
	4	エネルギー
	5	運動量、熱
	6	波動
	7	電気
	8	電気と磁力、原子
	9	物理演習
	10	物理演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅳ 化学	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	原子や化学反応など化学分野の基礎的な知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	化学反応現象を、反応式で捉えられるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	物質の構造 1
	2	物質の構造 2
	3	物質の状態
	4	物質の変化 1
	5	物質の変化 2
	6	物質の変化 3、有機化合物
	7	無機化合物 1
	8	無機化合物 2
	9	化学演習
	10	化学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅱ 英語	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	文法や熟語など英語分野の基礎的な知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務で求められる基礎的な英語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	１	文の種類
	２	be動詞・動詞、熟語
	３	現在時制・過去時制
	４	未来表現
	５	完了形
	６	助動詞
	７	受動態
	８	不定詞
	９	動名詞
	１０	関係詞
	１１	仮定法
	１２	接続詞
	１３	話法、否定
	１４	強調・倒置・省略
	１５	前置詞・名詞・代名詞・冠詞
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅰ 数的処理	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	数的処理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身につけた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト・スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	論理、集合の要素
	2	順序
	3	対応
	4	位置と方位
	5	勝ち負け、カード・ゲーム
	6	ウソの発言、推理・手順
	7	折り紙、回転の軌跡
	8	正多面体・展開図
	9	平面図形の構成、サイコロ
	10	見取図と投影図・積木
	11	立体の切断・回転体、一筆書き
	12	平面図形の計量①
	13	平面図形の計量②
	14	立体図形の計量
	15	方程式・不等式
	16	整数・計算、パズル
	17	割合と比
	18	速さ
	19	仕事算
	20	場合の数、確率
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅲ 人文科学	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	地理・歴史の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な人文科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	オリジナルテキスト、スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	平安時代・鎌倉時代・室町時代
	2	江戸時代
	3	明治時代・大正時代
	4	現代
	5	通史
	6	世界の地形・世界の気候
	7	世界の農業
	8	世界の工業・資源
	9	日本地誌
	10	世界地誌
	11	東洋史（前半）
	12	東洋史（後半）
	13	第二次世界大戦と戦後世界
	14	中世ヨーロッパから近世ヨーロッパ
	15	近代ヨーロッパと第一次世界大戦
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅳ 自然科学	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	オリジナルテキスト、スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	生体の構造、生体内の代謝
	2	生体内の代謝
	3	生体内の代謝、生殖と発生、遺伝と変異
	4	遺伝と変異、刺激の受容と反応
	5	刺激の受容と反応、内部環境の恒常性と調整
	6	内部環境の恒常性と調整、生物の集団、生物の進化と系統
	7	地球の姿と動く大地
	8	岩石、大気と海洋
	9	大気と海洋、太陽系と宇宙の構造
	10	太陽系と宇宙の構造、地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎答案練習	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	本試験形式の 1 次試験から 2 次試験までを体験する	
授業の進め方	教養模擬試験および作文・適性・面接試験を実施する	
達成目標	第6講目の模擬試験で合格ラインに達する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験 1
	2	基礎的なレベルの模擬試験 1 の復習
	3	基礎的なレベルの模擬試験 2
	4	基礎的なレベルの模擬試験 2 の復習
	5	模擬受験（教養試験）
	6	模擬受験（作文/ES・適性試験）
	7	基礎的なレベルの模擬試験 3
	8	基礎的なレベルの模擬試験 3 の復習
	9	基礎的なレベルの模擬試験 4
	10	基礎的なレベルの模擬試験 4 の復習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験・模擬受験における得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験対策講義	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性検査パターン1、パターン2の解答方法及び練習
	2	適性検査パターン3、パターン4の解答方法及び練習
	3	適性検査パターン5、パターン6の解答方法及び練習
	4	適性検査練習1
	5	適性検査練習2
	6	適性検査練習3
	7	適性検査練習4
	8	適性検査練習5
	9	適性検査練習6
	10	適性検査練習7
	11	適性検査練習8
	12	適性検査練習9
	13	適性検査練習10
	14	適性検査練習11
	15	適性検査練習12
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員模擬受験	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	模擬公務員試験を実施し実際の公務員試験の流れを把握する	
授業の進め方	履歴書作成、ES作成を行い、模擬公務員試験を実施する	
達成目標	模擬公務員試験の合格を目指す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	模擬受験（受験先確定）
	2	模擬受験（履歴書作成）
	3	模擬受験（ES作成）
	4	模擬受験（ES作成）
	5	模擬受験一次試験
	6	模擬受験一次試験
	7	模擬受験 面接練習
	8	模擬受験 面接練習
	9	模擬受験二次試験
	10	模擬受験二次試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬公務員試験の成績や授業への参加姿勢で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定１級に合格する	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	１	訓読み・送り仮名・熟語１
	２	訓読み・送り仮名・熟語２
	３	同音異義・異字同訓
	４	誤字訂正、類義語・反対語
	５	漢字の意味・使い方１
	６	漢字の意味・使い方２
	７	漢字の意味・使い方３
	８	ことわざ・故事成語・慣用句 １
	９	ことわざ・故事成語・慣用句 ２
	１０	特殊な漢字の読み書き １
	１１	特殊な漢字の読み書き ２
	１２	項目別模擬試験 １
	１３	項目別模擬試験 ２
	１４	直前模擬試験 １
	１５	直前模擬試験 ２
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：９０点以上、優：８０点以上、良：７０点以上、可：６０点以上、不可：６０点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	公務員キャリアデザイン 基礎		
実務家教員			
学部・学科	公務員2年制学科		
履修年次	1年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	効果測定を通して面接の基礎を修得し、4試験種に向けた面接指導を行う		
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する		
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる		
教科書	公務員ガイドブック・デジタルテキスト		
特記			
授業計画	1	公務員全般ガイダンス	31 模擬面接（実践）Ⅲ
	2	面接の基本	32 模擬面接（実践）Ⅲ
	3	自己PR作成	33 模擬面接（実践）Ⅲ
	4	志望動機作成	34 模擬面接（実践）Ⅲ
	5	面接効果測定	35 模擬面接（実践）Ⅲ
	6	受験職種研究1	36 模擬面接（実践）Ⅲ
	7	受験職種研究2	37 模擬面接（実践）Ⅲ
	8	模擬面接（基礎）Ⅰ	38 模擬面接（実践）Ⅳ
	9	受験職種研究3	39 模擬面接（実践）Ⅳ
	10	受験職種研究4	40 模擬面接（実践）Ⅳ
	11	模擬面接（基礎）Ⅱ	41 模擬面接（実践）Ⅳ
	12	模擬面接（基礎）Ⅱ	42 模擬面接（実践）Ⅳ
	13	模擬面接（基礎）Ⅱ	43 模擬面接（実践）Ⅳ
	14	模擬面接（基礎）Ⅱ	44 模擬面接（実践）Ⅳ
	15	模擬面接（実践）Ⅰ	45 模擬面接（実践）Ⅳ
	16	模擬面接（実践）Ⅰ	
	17	模擬面接（実践）Ⅰ	
	18	模擬面接（実践）Ⅰ	
	19	模擬面接（実践）Ⅰ	
	20	模擬面接（実践）Ⅰ	
	21	模擬面接（実践）Ⅰ	
	22	模擬面接（実践）Ⅰ	
	23	模擬面接（実践）Ⅱ	
	24	模擬面接（実践）Ⅱ	
	25	模擬面接（実践）Ⅱ	
	26	模擬面接（実践）Ⅱ	
	27	模擬面接（実践）Ⅱ	
	28	模擬面接（実践）Ⅱ	
	29	模擬面接（実践）Ⅱ	
	30	模擬面接（実践）Ⅱ	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定および授業への参加姿勢で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考	授業実施順序は入替をすることがある		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーや立ち居振舞いを学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	面接時の入退室及び自己 P R が出来るようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本 1
	2	面接の基本 2
	3	言葉遣いと身嗜み
	4	立ち居振舞いとお辞儀
	5	入退室の仕方
	6	入退室練習
	7	入退室練習
	8	入退室練習
	9	入退室練習
	10	入退室練習
	11	入退室効果測定練習
	12	入退室効果測定練習
	13	入退室効果測定練習
	14	入退室効果測定
	15	入退室効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の成績を中心的に総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験に向けての自己分析・自己PR作成を行う	
授業の進め方	自己分析および自己PR作成をおこない、効果測定をおこなう	
達成目標	自己PRが出来るようになり、自分らしさを表現できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己分析1
	2	自己分析2
	3	自己分析3
	4	自己分析4
	5	自己分析5
	6	作文『今まで一番頑張ったこと』
	7	自己PR作成1
	8	自己PR作成2
	9	自己PR作成3
	10	自己PR作成4
	11	自己PR作成5
	12	自己PRグループ発表準備
	13	自己PRグループ発表
	14	自己分析効果測定
	15	自己分析効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	就職活動準備		
実務家教員			
学部・学科	公務員 2 年制学科		
履修年次	1 年次		
開講区分	通年		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	9 0 時間		
授業回数	4 5 回		
授業概要	公務員及び民間就職の活動前に基礎的なビジネスマナーや所作を学ぶ		
授業の進め方	座学中心ではあるが、一部実践を取り入れて進行する		
達成目標	就職活動を始めるうえでの基礎的スキルやマインドを身に付ける		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	就職活動の心構え	31 自己PR作成 1
	2	現在の就職を取り巻く環境	32 自己PR作成 2
	3	身だしなみ 1（頭髪など）	33 自己PRの発表準備 1
	4	身だしなみ 2（スーツの着こなし）	34 自己PRの発表準備 2
	5	正しい言葉遣い 1（敬語の使用法）	35 効果測定
	6	正しい言葉遣い 2（ビジネス会話）	36 求人票の見方
	7	正しい言葉遣い 3（復習および反復練習）	37 業界研究の手法
	8	正しい言葉遣い 4（効果測定）	38 業界研究 1
	9	立ち居振る舞い 1（立ち姿勢・お辞儀）	39 業界研究 2
	10	立ち居振る舞い 2（表情・挨拶）	40 業界研究 3
	11	立ち居振る舞い 3（復習および反復練習）	41 業界研究の発表準備 1
	12	立ち居振る舞い 4（効果測定）	42 業界研究の発表準備 2
	13	電話の掛け方 1（基本所作）	43 業界研究の発表準備 3
	14	電話の掛け方 2（実践会話）	44 業界研究の発表準備 4
	15	電話の掛け方 3（復習および反復練習）	45 効果測定
	16	電話の掛け方 4（効果測定）	
	17	ペン習字 1	
	18	ペン習字 2	
	19	ペン習字 3	
	20	ペン習字 4	
	21	エントリーシートの記入方法 1（レクチャー）	
	22	エントリーシートの記入方法 2（経歴欄の仮作成）	
	23	エントリーシートの記入方法 3（自己PR等を含めた仮作成）	
	24	エントリーシートの記入方法 4（提出用シート作成）	
	25	面接試験の評価方法 1（個人面接）	
	26	面接試験の評価方法 2（集団面接）	
	27	面接試験の評価方法 3（集団討論）	
	28	自己分析 1	
	29	自己分析 2	
	30	自己分析 3	
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定の得点で評価		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅱ	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	15時間	
授業回数	8回	
授業概要	警察署から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	実務経験者（警察官）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（警察官）による講義を基にした演習	
授業計画	1	警察官の仕事内容
	2	警察官の組織
	3	警察学校の生活
	4	警察官に求められる資質
	5	研究レポートの作成1
	6	研究レポートの作成2
	7	研究レポートの作成3
	8	レポートの検証（60分）
成績評価方法 （試験実施方法）	研究レポートの完成度によって評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅲ	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	１５時間	
授業回数	８回	
授業概要	官公庁(国家省庁等)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う。	
授業の進め方	実務経験者（国家省庁等）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（国家省庁）による講義を基にした演習	
授業計画	１	官庁訪問の仕組み
	２	省庁の仕事内容
	３	官公庁講義１
	４	官公庁講義２
	５	官公庁講義３
	６	研究レポートの作成
	７	研究レポートの作成
	８	レポートの検証（６０分）
成績評価方法 （試験実施方法）	研究レポートの完成度によって評価	
成績評価基準	秀：９０点以上、優：８０点以上、良：７０点以上、可：６０点以上、不可：６０点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅳ	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	実務経験の豊富な講師をお招きし、その講義から得た知識を基に消防官職種研究を行う	
授業の進め方	実務経験者（消防官）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	元横浜消防教官鎌田氏による消防及び公安職に関する研究	
授業計画	1	消防官の仕事内容
	2	実務者講義 1（消防官に求められる資質）
	3	研究レポート（消防官に求められる資質）
	4	実務者講義 2（自助・共助・公助）
	5	研究レポート（自助・共助・公助）
	6	実務者講義 3（消防と我が人生）
	7	研究レポート（消防と我が人生）
	8	レポートの検証（60分）
成績評価方法 （試験実施方法）	研究レポートの完成度によって評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅴ	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	１５時間	
授業回数	８回	
授業概要	官公庁(国家公安職)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う。	
授業の進め方	実務経験者（国家公安職）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（国家公安職）による講義を基にした演習	
授業計画	１	公安職の仕事内容
	２	公安職に求められる資質
	３	研究レポートの作成 １
	４	研究レポートの作成 ２
	５	研究レポートの作成 ３
	６	研究レポートの作成 ４
	７	研究レポートの作成 ５
	８	レポートの検証（６０分）
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価	
成績評価基準	秀：９０点以上、優：８０点以上、良：７０点以上、可：６０点以上、不可：６０点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実習	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	実務経験者の講師をお招きし、その講義から得た知識・技能で実習を行う	
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、その後筋力トレーニング・ストレッチ運動・球技などの実習を行う。	
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う	
教科書	なし	
特記	元横浜消防教官鎌田氏による消防及び公安職に求められる体力錬成	
授業計画	1	公安職 職種研究
	2	公安職 体力試験と身体検査
	3	実務経験者によるトレーニング講座
	4	筋力トレーニング
	5	筋力トレーニング
	6	筋力トレーニング
	7	筋力トレーニング
	8	筋力トレーニング
	9	筋力トレーニング
	10	筋力トレーニング
	11	筋力トレーニング
	12	筋力トレーニング
	13	筋力トレーニング
	14	筋力トレーニング
	15	筋力トレーニング
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況によって評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	１	ボランティアの基礎知識
	２	自治体とボランティア
	３	ボランティア実体験①
	４	ボランティア実体験②
	５	ボランティア実体験③
	６	ボランティア実体験④
	７	ボランティア実体験⑤
	８	ボランティア実体験⑥
	９	ボランティア実体験⑦
	１０	ボランティア実体験⑧
	１１	ボランティア実体験⑨
	１２	ボランティア実体験⑩
	１３	ボランティア実体験⑪
	１４	ボランティア実体験⑫
	１５	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
授業科目	I T リテラシ		
実務家教員			
学部・学科	公務員 2 年制学科		
履修年次	1 年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	9 0 時間		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	ネットワーク、セキュリティの知識とコンピュータの基本操作を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身につける		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	コンピュータシステムの構成①	31 直前答案練習①
	2	コンピュータシステムの構成②	32 直前答案練習②
	3	コンピュータシステムの構成③	33 直前答案練習③
	4	ネットワークテクノロジー①	34 直前答案練習④
	5	ネットワークテクノロジー②	35 直前答案練習⑤
	6	ネットワークテクノロジー③	36 直前答案練習⑥
	7	ネットワークの構築と運用①	37 直前答案練習⑦
	8	ネットワークの構築と運用②	38 直前答案練習⑧
	9	ネットワークの構築と運用③	39 直前答案練習⑨
	10	ネットワークの構築と運用④	40 直前答案練習⑩
	11	情報セキュリティ①	41 直前答案練習⑪
	12	情報セキュリティ②	42 直前答案練習⑫
	13	情報セキュリティ③	43 直前答案練習⑬
	14	情報セキュリティ④	44 直前答案練習⑭
	15	情報セキュリティ⑤	45 直前答案練習⑮
	16	項目別問題演習①	
	17	項目別問題演習②	
	18	項目別問題演習③	
	19	項目別問題演習④	
	20	項目別問題演習⑤	
	21	項目別問題演習⑥	
	22	項目別問題演習⑦	
	23	項目別問題演習⑧	
	24	項目別問題演習⑨	
	25	項目別問題演習⑩	
	26	項目別問題演習⑪	
	27	項目別問題演習⑫	
	28	項目別問題演習⑬	
	29	項目別問題演習⑭	
	30	項目別問題演習⑮	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	キャリアデザインⅢ	
実務家教員	授業担当者：株式会社アウトソーシングテクノロジー	
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	１	グループディスカッションとは①
	２	グループディスカッションとは②
	３	グループディスカッションの役割①
	４	グループディスカッションの役割②
	５	抽象テーマ型グループディスカッション①
	６	抽象テーマ型グループディスカッション②
	７	抽象テーマ型グループディスカッション③
	８	課題解決型グループディスカッション①
	９	課題解決型グループディスカッション②
	１０	課題解決型グループディスカッション③
	１１	KJ法①
	１２	KJ法②
	１３	資料読み取り型グループディスカッション①
	１４	資料読み取り型グループディスカッション②
	１５	資料読み取り型グループディスカッション③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％ 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	時事	
実務家教員授業		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義により、興味を持って情報収集し自身の意見に反映させる	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解し、時事に関する情報収集を行い、考えや意見を伝えることが	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事用語確認①
	2	時事用語確認②
	3	時事用語確認③
	4	時事用語確認④
	5	時事用語確認⑤
	6	時事用語確認⑥
	7	時事用語確認⑦
	8	時事用語確認⑧
	9	時事用語確認⑨
	10	時事用語確認⑩
	11	時事用語確認⑪
	12	時事用語確認⑫
	13	時事用語確認⑬
	14	時事用語確認⑭
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	Excel基礎	
実務家教員授業	—	
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①
	2	ワークシートやブックの作成と管理②
	3	セルやセル範囲のデータの管理①
	4	セルやセル範囲のデータの管理②
	5	テーブルの作成①
	6	テーブルの作成②
	7	テーブルの作成③
	8	関数を使用してのデータ集計①
	9	関数を使用してのデータ集計②
	10	関数を使用してのデータ集計③
	11	関数を使用しての条件付き計算④
	12	関数を使用しての条件付き計算⑤
	13	関数を使用しての条件付き計算⑥
	14	関数を使用した文字列の整形や変更①
	15	関数を使用した文字列の整形や変更②
	16	関数を使用した文字列の整形や変更③
	17	グラフの作成①
	18	グラフの作成②
	19	グラフの作成③
	20	グラフの書式設定①
	21	グラフの書式設定②
	22	グラフの書式設定③
	23	グラフの書式設定④
	24	グラフの書式設定⑤
	25	オブジェクトの挿入や書式設定①
	26	オブジェクトの挿入や書式設定②
	27	オブジェクトの挿入や書式設定③
	28	オブジェクトの挿入や書式設定④
	29	オブジェクトの挿入や書式設定⑤
	30	オブジェクトの挿入や書式設定⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	１	ビジネスマナー学習のオリエンテーション
	２	職場のマナー
	３	敬語と挨拶
	４	敬語と挨拶
	５	接遇マナー
	６	接客マナー
	７	営業マナー
	８	商品説明
	９	商品説明
	１０	商品説明（プレゼンテーション）
	１１	商品説明（プレゼンテーション）
	１２	クレーム対応
	１３	社会人マナー
	１４	電話応対基礎編
	１５	電話応対基礎編
	１６	電話応対基礎編
	１７	電話応対基礎編
	１８	電話応対応用編（伝言）
	１９	電話応対応用編（伝言）
	２０	電話応対応用編（伝言）
	２１	電話応対応用編（伝言）
	２２	第１回効果測定
	２３	第１回効果測定の検証と第２回効果測定の準備
	２４	第２回効果測定
	２５	第２回効果測定の検証と第３回効果測定の準備
	２６	第３回効果測定
	２７	冠婚葬祭のマナー
	２８	郵便のマナー
	２９	電話での道案内
	３０	クレーム対応
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWORDとEXCEL等の操作方法を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	WORDの基本操作 1
	2	WORDの基本操作 2
	3	WORDの基本操作 3
	4	WORDの基本操作 4
	5	WORDの基本操作 5
	6	WORD効果測定
	7	EXCEL基本操作 1
	8	EXCEL基本操作 2
	9	EXCEL基本操作 3
	10	EXCEL基本操作 4
	11	EXCEL基本操作 5
	12	EXCEL効果測定
	13	POWERPOINTの基本操作 1
	14	POWERPOINTの基本操作 2
	15	POWERPOINTの基本操作 3
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学総合	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	西洋および東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な倫理・芸術・文学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	古代ギリシャの思想家、経験論・合理論・観念論
	2	功利主義、プラグマティズム、実存主義
	3	日本の思想家、諸子百家
	4	西洋美術、西洋文学、西洋音楽、西洋建築
	5	江戸時代までの日本文学、明治時代以降の日本文学
	6	人文科学演習
	7	人文科学演習
	8	人文科学演習
	9	人文科学演習
	10	人文科学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学総合	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	理数系科目の基礎を幅広く総合的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	生物（生体の構造、生体内の代謝、生殖と発生）
	2	生物（遺伝と変異、刺激の需要と反応）
	3	生物（内部環境の恒常性と調節、からだの防衛反応）
	4	地学（気象現象、日本の四季）
	5	地学（太陽系と宇宙の構造、太陽系と惑星）
	6	物理（力 1、力 2、運動方程式）
	7	物理（電気、電気と磁力）
	8	化学（物質の構造、物質の状態）
	9	化学（物質の変化）
	10	自然科学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数学 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	基本的な数学計算の能力を身に着け、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	数と式、二次方程式を中心に、基礎的な知識と計算技術を身に着ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	数と式
	2	方程式
	3	関数
	4	微分積分
	5	式と図形、不等式と領域
	6	指数、対数
	7	三角関数、ベクトル
	8	数と体系
	9	数学演習
	10	数学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 数的処理 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	スタンダード問題集、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	論理、集合の要素の個数
	2	順序
	3	対応
	4	位置と方位
	5	折り紙、回転の軌跡
	6	正多面体・展開図
	7	平面図形の構成、サイコロ
	8	方程式・不等式、整数・計算パズル
	9	割合と比
	10	資料解釈
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 数的処理Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	２０時間	
授業回数	１０回	
授業概要	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	スタンダード問題集、実戦問題集	
特記		
授業計画	１	勝ち負け、カード・ゲーム
	２	ウソの発言、推理・手順、暗号
	３	見取り図と投影図、積木
	４	立体の切断・回転体、一筆書き
	５	平面図形の軽量
	６	立体図形の軽量
	７	速さ
	８	仕事算
	９	場合の数、確率
	１０	資料解釈
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 知識系科目総合Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	２０時間	
授業回数	１０回	
授業概要	問題演習を通じ、知識系科目の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	社会科学分野に関するより幅広い知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト、実戦問題集	
特記		
授業計画	１	政治 基本理念、政治制度
	２	政治 基本的人権
	３	政治 国会と内閣と裁判所の機構と運営
	４	政治 地方自治制度、選挙制度
	５	経済 現代の企業と市場
	６	経済 国民所得と通貨制度
	７	経済 金融政策と財政政策
	８	経済 貿易と国際経済の動向
	９	社会 労働問題と社会保障
	１０	社会 環境問題と国際関係
成績評価方法 (試験実施方法)	全ジャンルから100問を抜粋した試験を軸に、授業参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 知識系科目総合Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	２０時間	
授業回数	１０回	
授業概要	問題演習を通じ、知識系科目の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	人文科学分野に関するより幅広い知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト、実戦問題集	
特記		
授業計画	１	日本史 古代～中世
	２	日本史 近世～近代
	３	日本史 現代
	４	世界史 東洋史
	５	世界史 第二次世界大戦
	６	世界史 近代ヨーロッパ～第一次世界大戦
	７	地理 世界の地形・気候
	８	地理 世界の工業・資源
	９	地理 日本地誌
	１０	地理 世界地誌
成績評価方法 (試験実施方法)	全ジャンルから100問を抜粋した試験を軸に、授業参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル		内容
授業科目	応用演習 数的処理本試験対策	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	数的分野全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1
	2	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 2
	3	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 3
	4	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 4
	5	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 5
	6	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 6
	7	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 7
	8	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 8
	9	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 9
	10	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1 0
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 知識系科目本試験対策	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	知識系科目全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 1
	2	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 2
	3	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 3
	4	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 4
	5	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 5
	6	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 6
	7	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 7
	8	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 8
	9	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 9
	10	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 1 0
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	総合答案練習Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	公務員2年制学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	150時間			
授業回数	75回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	基礎的な内容の50題の模擬試験で30点以上を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験①	41	模擬試験の解説（知能系科目）
	2	模擬試験の解説（知能系科目）	42	模擬試験の解説（知識系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）	43	一部応用レベルの問題も含む模擬試験③
	4	基礎的なレベルの模擬試験②	44	模擬試験の解説（知能系科目）
	5	模擬試験の解説（知能系科目）	45	模擬試験の解説（知識系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）	46	一部応用レベルの問題も含む模擬試験④
	7	基礎的なレベルの模擬試験③	47	模擬試験の解説（知能系科目）
	8	模擬試験の解説（知能系科目）	48	模擬試験の解説（知識系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）	49	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑤
	10	基礎的なレベルの模擬試験④	50	模擬試験の解説（知能系科目）
	11	模擬試験の解説（知能系科目）	51	模擬試験の解説（知識系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）	52	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑥
	13	基礎的なレベルの模擬試験⑤	53	模擬試験の解説（知能系科目）
	14	模擬試験の解説（知能系科目）	54	模擬試験の解説（知識系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）	55	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑦
	16	基礎的なレベルの模擬試験⑥	56	模擬試験の解説（知能系科目）
	17	模擬試験の解説（知能系科目）	57	模擬試験の解説（知識系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）	58	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑧
	19	基礎的なレベルの模擬試験⑦	59	模擬試験の解説（知能系科目）
	20	模擬試験の解説（知能系科目）	60	模擬試験の解説（知識系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）	61	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑨
	22	基礎的なレベルの模擬試験⑧	62	模擬試験の解説（知能系科目）
	23	模擬試験の解説（知能系科目）	63	模擬試験の解説（知識系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）	64	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑩
	25	基礎的なレベルの模擬試験⑨	65	模擬試験の解説（知能系科目）
	26	模擬試験の解説（知能系科目）	66	模擬試験の解説（知識系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）	67	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑪
	28	基礎的なレベルの模擬試験⑩	68	模擬試験の解説（知能系科目）
	29	模擬試験の解説（知能系科目）	69	模擬試験の解説（知識系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）	70	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑫
	31	基礎的なレベルの模擬試験⑪	71	模擬試験の解説（知能系科目）
	32	模擬試験の解説（知能系科目）	72	模擬試験の解説（知識系科目）
	33	模擬試験の解説（知識系科目）	73	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑬
	34	基礎的なレベルの模擬試験⑫	74	模擬試験の解説（知能系科目）
	35	模擬試験の解説（知能系科目）	75	模擬試験の解説（知識系科目）
	36	模擬試験の解説（知識系科目）		
	37	一部応用レベルの問題も含む模擬試験①		
	38	模擬試験の解説（知能系科目）		
	39	模擬試験の解説（知識系科目）		
	40	一部応用レベルの問題も含む模擬試験②		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	総合答案練習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する	
達成目標	基礎レベルから一部応用問題を含む模擬試験において全問題の7割以上の正解を目標とする	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	国家公務員タイプの模擬試験 1
	2	地方公務員タイプの模擬試験 1
	3	地方公務員タイプの模擬試験 2
	4	地方公務員タイプの模擬試験 2 解説・復習
	5	地方公務員タイプの模擬試験 3
	6	地方公務員タイプの模擬試験 3 解説・復習
	7	国家公務員タイプの模擬試験 2
	8	国家公務員タイプの模擬試験 2 解説・復習
	9	地方公務員タイプの模擬試験 4
	10	地方公務員タイプの模擬試験 4 解説・復習
	11	国家公務員タイプの模擬試験 3
	12	国家公務員タイプの模擬試験 3 解説・復習
	13	国家公務員タイプの模擬試験 4
	14	国家公務員タイプの模擬試験 4 解説・復習
	15	国家公務員タイプの模擬試験 5
	16	国家公務員タイプの模擬試験 5 解説・復習
	17	地方公務員タイプの模擬試験 5
	18	地方公務員タイプの模擬試験 5 解説・復習
	19	地方公務員タイプの模擬試験 6
	20	地方公務員タイプの模擬試験 6 解説・復習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験・模擬受験における得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前答案練習 I			
実務家教員				
学部・学科	公務員 2 年制学科			
履修年次	2 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	1 8 0 時間			
授業回数	9 0 回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	国家公務員タイプの模擬試験 1	46	地方公務員タイプの模擬試験 3
	2	模擬試験の解説（知能系科目）	47	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）	48	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	国家公務員タイプの模擬試験 2	49	地方公務員タイプの模擬試験 4
	5	模擬試験の解説（知能系科目）	50	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）	51	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	国家公務員タイプの模擬試験 3	52	地方公務員タイプの模擬試験 5
	8	模擬試験の解説（知能系科目）	53	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）	54	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	国家公務員タイプの模擬試験 4	55	地方公務員タイプの模擬試験 6
	11	模擬試験の解説（知能系科目）	56	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）	57	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	国家公務員タイプの模擬試験 5	58	地方公務員タイプの模擬試験 7
	14	模擬試験の解説（知能系科目）	59	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）	60	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	国家公務員タイプの模擬試験 6	61	地方公務員タイプの模擬試験 8
	17	模擬試験の解説（知能系科目）	62	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）	63	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	国家公務員タイプの模擬試験 7	64	地方公務員タイプの模擬試験 9
	20	模擬試験の解説（知能系科目）	65	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）	66	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	国家公務員タイプの模擬試験 8	67	地方公務員タイプの模擬試験 10
	23	模擬試験の解説（知能系科目）	68	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）	69	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	国家公務員タイプの模擬試験 9	70	地方公務員タイプの模擬試験 11
	26	模擬試験の解説（知能系科目）	71	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）	72	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	国家公務員タイプの模擬試験 10	73	地方公務員タイプの模擬試験 12
	29	模擬試験の解説（知能系科目）	74	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）	75	模擬試験の解説（知識系科目）
	31	国家公務員タイプの模擬試験 11	76	地方公務員タイプの模擬試験 13
	32	模擬試験の解説（知能系科目）	77	模擬試験の解説（知能系科目）
	33	模擬試験の解説（知識系科目）	78	模擬試験の解説（知識系科目）
	34	国家公務員タイプの模擬試験 12	79	地方公務員タイプの模擬試験 14
	35	模擬試験の解説（知能系科目）	80	模擬試験の解説（知能系科目）
	36	模擬試験の解説（知識系科目）	81	模擬試験の解説（知識系科目）
	37	国家公務員タイプの模擬試験 13	82	地方公務員タイプの模擬試験 15
	38	模擬試験の解説（知能系科目）	83	模擬試験の解説（知能系科目）
	39	模擬試験の解説（知識系科目）	84	模擬試験の解説（知識系科目）
	40	地方公務員タイプの模擬試験 1	85	地方公務員タイプの模擬試験 16
	41	模擬試験の解説（知能系科目）	86	模擬試験の解説（知能系科目）
	42	模擬試験の解説（知識系科目）	87	模擬試験の解説（知識系科目）
	43	地方公務員タイプの模擬試験 2	88	地方公務員タイプの模擬試験 17
	44	模擬試験の解説（知能系科目）	89	模擬試験の解説（知能系科目）
	45	模擬試験の解説（知識系科目）	90	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法（試験実施方法）	模擬試験における得点で評価			
成績評価基準	秀：90 点以上、優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：60 点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前答案練習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	公務員2年制学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	地方公務員タイプの模擬試験1	31	地方公務員タイプの模擬試験11
	2	模擬試験の解説（知能系科目）	32	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）	33	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	地方公務員タイプの模擬試験2	34	地方公務員タイプの模擬試験12
	5	模擬試験の解説（知能系科目）	35	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）	36	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	地方公務員タイプの模擬試験3	37	地方公務員タイプの模擬試験13
	8	模擬試験の解説（知能系科目）	38	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）	39	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	地方公務員タイプの模擬試験4	40	地方公務員タイプの模擬試験14
	11	模擬試験の解説（知能系科目）	41	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）	42	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	地方公務員タイプの模擬試験5	43	地方公務員タイプの模擬試験15
	14	模擬試験の解説（知能系科目）	44	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）	45	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	地方公務員タイプの模擬試験6	46	地方公務員タイプの模擬試験16
	17	模擬試験の解説（知能系科目）	47	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）	48	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	地方公務員タイプの模擬試験7	49	地方公務員タイプの模擬試験17
	20	模擬試験の解説（知能系科目）	50	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）	51	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	地方公務員タイプの模擬試験8	52	地方公務員タイプの模擬試験18
	23	模擬試験の解説（知能系科目）	53	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）	54	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	地方公務員タイプの模擬試験9	55	地方公務員タイプの模擬試験19
	26	模擬試験の解説（知能系科目）	56	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）	57	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	地方公務員タイプの模擬試験10	58	地方公務員タイプの模擬試験20
	29	模擬試験の解説（知能系科目）	59	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）	60	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	地方公務員タイプの模擬試験 1
	2	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	地方公務員タイプの模擬試験 2
	5	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	地方公務員タイプの模擬試験 3
	8	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	地方公務員タイプの模擬試験 4
	11	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	地方公務員タイプの模擬試験 5
	14	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験対策演習	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性検査練習 1
	2	適性検査練習 2
	3	適性検査練習 3
	4	適性検査練習 4
	5	適性検査練習 5
	6	適性検査練習 6
	7	適性検査練習 7
	8	適性検査練習 8
	9	適性検査練習 9
	10	適性検査練習 1 0
	11	適性検査練習 1 1
	12	適性検査練習 1 2
	13	適性検査練習 1 3
	14	適性検査練習 1 4
	15	適性検査練習 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル		内容
授業科目		公務員時事研究
実務家教員		
学部・学科		公務員2年制学科
履修年次		2年次
開講区分		通年
科目区分		選択
授業方法		演習
授業時間		60時間
授業回数		30回
授業概要		就職先に関連する社会的ニュースを考察する
授業の進め方		新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる
達成目標		就職先およびその業務に関わる知識を身につける
教科書		なし
特記		
授業計画	1	情報収集と考察 テーマ1
	2	情報収集と考察 テーマ2
	3	情報収集と考察 テーマ3
	4	情報収集と考察 テーマ4
	5	情報収集と考察 テーマ5
	6	情報収集と考察 テーマ6
	7	情報収集と考察 テーマ7
	8	情報収集と考察 テーマ8
	9	情報収集と考察 テーマ9
	10	情報収集と考察 テーマ10
	11	情報収集と考察 テーマ11
	12	情報収集と考察 テーマ12
	13	情報収集と考察 テーマ13
	14	情報収集と考察 テーマ14
	15	情報収集と考察 テーマ15
	16	情報収集と考察 テーマ16
	17	情報収集と考察 テーマ17
	18	情報収集と考察 テーマ18
	19	情報収集と考察 テーマ19
	20	情報収集と考察 テーマ20
	21	情報収集と考察 テーマ21
	22	情報収集と考察 テーマ22
	23	情報収集と考察 テーマ23
	24	情報収集と考察 テーマ24
	25	情報収集と考察 テーマ25
	26	情報収集と考察 テーマ26
	27	情報収集と考察 テーマ27
	28	情報収集と考察 テーマ28
	29	情報収集と考察 テーマ29
	30	情報収集と考察 テーマ30
成績評価方法 (試験実施方法)		提出物の内容を評価
成績評価基準		秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事対策	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ	
授業の進め方	1項目15分程度で、重要ワードを軸にその内容を解説し、問題演習を行う	
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事（政治分野1）
	2	時事（政治分野2）
	3	時事（政治分野3）
	4	時事（経済分野1）
	5	時事（経済分野2）
	6	時事（文化1）
	7	時事（文化2）
	8	時事（文化3）
	9	時事（科学1）
	10	時事（科学2）
	11	時事（科学3）
	12	時事（科学4）
	13	時事（科学5）
	14	時事（国際問題1）
	15	時事（国際問題2）
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、１回１５分程度の問題演習と検証を繰り返す行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	１	適性試験パターン１の解答方法
	２	適性試験パターン１の練習
	３	適性試験パターン２の解答方法
	４	適性試験パターン２の練習
	５	適性試験パターン３の解答方法
	６	適性試験パターン３の練習
	７	適性試験練習１
	８	適性試験練習２
	９	適性試験練習３
	１０	適性試験練習４
	１１	適性試験練習５
	１２	適性試験練習６
	１３	適性試験練習７
	１４	適性試験練習８
	１５	適性試験練習９
	１６	適性試験練習１０
	１７	適性試験練習１１
	１８	適性試験練習１２
	１９	適性試験練習１３
	２０	適性試験練習１４
	２１	模擬試験（適性試験）１
	２２	模擬試験（適性試験）２
	２３	模擬試験（適性試験）３
	２４	模擬試験（適性試験）４
	２５	模擬試験（適性試験）５
	２６	模擬試験（適性試験）６
	２７	模擬試験（適性試験）７
	２８	模擬試験（適性試験）８
	２９	模擬試験（適性試験）９
	３０	模擬試験（適性試験）１０
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：９０点以上、優：８０点以上、良：７０点以上、可：６０点以上、不可：６０点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、１回１５分程度の問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	１	適性試験パターン１の解答方法
	２	適性試験パターン１の練習
	３	適性試験パターン２の解答方法
	４	適性試験パターン２の練習
	５	適性試験パターン３の解答方法
	６	適性試験パターン３の練習
	７	適性試験練習１
	８	適性試験練習２
	９	適性試験練習３
	１０	適性試験練習４
	１１	適性試験練習５
	１２	適性試験練習６
	１３	模擬試験（適性試験）１
	１４	模擬試験（適性試験）２
	１５	模擬試験（適性試験）３
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：９０点以上、優：８０点以上、良：７０点以上、可：６０点以上、不可：６０点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員教養論文対策	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	公務員初級試験を見据えての文章作成スキルの習得	
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う	
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	論作文の書き方と正しい用紙の使い方
	2	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 1
	3	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 2
	4	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 3
	5	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 4
	6	作文練習 1
	7	作文練習 2
	8	作文練習 3
	9	作文練習 4
	10	作文練習 5
	11	作文練習 6
	12	作文練習 7
	13	作文練習 8
	14	作文練習 9
	15	作文練習 1 0
成績評価方法 (試験実施方法)	提出した作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザイン 公務員春試験	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的な面接の練習	
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	受験職種研究 1（職種①）
	2	受験職種研究 2（職種①）
	3	受験職種研究 3（職種①）
	4	模擬個人面接 1（職種①）
	5	模擬個人面接 2（職種①）
	6	模擬個人面接 3（職種①）
	7	受験職種研究 4（職種②）
	8	受験職種研究 5（職種②）
	9	受験職種研究 6（職種②）
	10	模擬個人面接 4（職種②）
	11	模擬個人面接 5（職種②）
	12	模擬個人面接 6（職種②）
	13	受験職種研究 7（職種③）
	14	模擬個人面接 7（職種③）
	15	模擬個人面接 8（職種③）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	公務員キャリアデザイン 公務員秋試験			
実務家教員				
学部・学科	公務員 2 年制学科			
履修年次	2 年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	1 2 0 時間			
授業回数	6 0 回			
授業概要	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的な面接の練習			
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する			
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる			
教科書	なし			
特記				
授業計画	1	受験職種研究 1（職種①）	31	受験職種研究 1 6（職種⑥）
	2	受験職種研究 2（職種①）	32	受験職種研究 1 7（職種⑥）
	3	受験職種研究 3（職種①）	33	受験職種研究 1 8（職種⑤）
	4	模擬個人面接 1（職種①）	34	模擬個人面接 1 6（職種⑤）
	5	模擬個人面接 2（職種①）	35	模擬個人面接 1 7（職種⑤）
	6	模擬個人面接 3（職種①）	36	模擬個人面接 1 8（職種⑤）
	7	受験職種研究 4（職種②）	37	受験職種研究 1 9（職種⑦）
	8	受験職種研究 5（職種②）	38	受験職種研究 2 0（職種⑦）
	9	受験職種研究 6（職種②）	39	受験職種研究 2 1（職種⑦）
	10	模擬個人面接 4（職種②）	40	模擬個人面接 1 9（職種⑦）
	11	模擬個人面接 5（職種②）	41	模擬個人面接 2 0（職種⑦）
	12	模擬個人面接 6（職種②）	42	模擬個人面接 2 1（職種⑦）
	13	受験職種研究 7（職種③）	43	受験職種研究 2 2（職種⑧）
	14	受験職種研究 8（職種③）	44	受験職種研究 2 3（職種⑧）
	15	受験職種研究 9（職種③）	45	受験職種研究 2 4（職種⑧）
	16	模擬個人面接 7（職種③）	46	模擬個人面接 2 2（職種⑧）
	17	模擬個人面接 8（職種③）	47	模擬個人面接 2 3（職種⑧）
	18	模擬個人面接 9（職種③）	48	模擬個人面接 2 4（職種⑧）
	19	受験職種研究 1 0（職種④）	49	受験職種研究 2 5（職種⑨）
	20	受験職種研究 1 1（職種④）	50	受験職種研究 2 6（職種⑨）
	21	受験職種研究 1 2（職種④）	51	受験職種研究 2 7（職種⑨）
	22	模擬個人面接 1 0（職種④）	52	模擬個人面接 2 5（職種⑨）
	23	模擬個人面接 1 1（職種④）	53	模擬個人面接 2 6（職種⑨）
	24	模擬個人面接 1 2（職種④）	54	模擬個人面接 2 7（職種⑨）
	25	受験職種研究 1 3（職種⑤）	55	受験職種研究 2 8（職種⑩）
	26	受験職種研究 1 4（職種⑤）	56	受験職種研究 2 9（職種⑩）
	27	受験職種研究 1 5（職種⑤）	57	受験職種研究 3 0（職種⑩）
	28	模擬個人面接 1 3（職種⑤）	58	模擬個人面接 2 8（職種⑩）
	29	模擬個人面接 1 4（職種⑤）	59	模擬個人面接 2 9（職種⑩）
	30	模擬個人面接 1 5（職種⑤）	60	模擬個人面接 3 0（職種⑩）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢で評価			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公官庁講話	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２０時間	
授業回数	１０回	
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める	
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする	
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する	
教科書	なし	
特記	国家省庁、国家公安、地方行政、警察官、消防官など幅広い職種の現職公務員の実務経験に基づく講義	
授業計画	１	職種別の業務内容、試験内容に関する講義
	２	受験手続に関する講義
	３	職種別ガイダンス１
	４	職種別ガイダンス２
	５	職種別ガイダンス３
	６	日程別受験先選択の為の講義
	７	職種別ガイダンス４
	８	職種別ガイダンス５
	９	職種別ガイダンス６
	１０	職種別ガイダンス７
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度などによって評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル		内容
授業科目	公務員倫理	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	公務人材開発協会より講師をお招きし、公務員に関する法令や服務規程を学ぶ	
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する	
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける	
教科書	なし	
特記	公官庁の研修を多く手掛ける公務人材開発協会による講義と演習	
授業計画	1	税制の理解①
	2	税制の理解②
	3	税制に関するレポート作成
	4	公務員の倫理と服務規程①
	5	公務員の倫理と服務規程②
	6	公務員の倫理と服務規程③
	7	服務規定に関するレポート作成
	8	レポートの検証（60分）
成績評価方法 （試験実施方法）	提出レポートの完成度によって評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	ビジネス文書作成																														
実務家教員																															
学部・学科	公務員本科2年制学科																														
履修年次	2年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択																														
授業方法	講義																														
授業時間	30時間																														
授業コマ数	15コマ																														
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのWORDの操作方法を学ぶ																														
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する																														
達成目標	自身でビジネス文書を作成出来るようになる																														
教科書	オリジナル教材																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>文字入力の基礎1</td></tr> <tr><td>2</td><td>文字入力の基礎2</td></tr> <tr><td>3</td><td>ビジネス文書作成1（案内文）</td></tr> <tr><td>4</td><td>ビジネス文書作成2（案内文）</td></tr> <tr><td>5</td><td>ビジネス文書作成3（送付状）</td></tr> <tr><td>6</td><td>ビジネス文書作成4（送付状）</td></tr> <tr><td>7</td><td>ビジネス文書作成5（社内文書）</td></tr> <tr><td>8</td><td>ビジネス文書作成6（社内文書）</td></tr> <tr><td>9</td><td>ビジネス文書作成7（表作成）</td></tr> <tr><td>10</td><td>ビジネス文書作成8（表作成）</td></tr> <tr><td>11</td><td>ビジネス文書作成9（表作成）</td></tr> <tr><td>12</td><td>ビジネス文書作成10（文章と表の組み合わせ）</td></tr> <tr><td>13</td><td>ビジネス文書作成11（文章と表の組み合わせ）</td></tr> <tr><td>14</td><td>ビジネス文書作成12（メール文章・メールの設定）</td></tr> <tr><td>15</td><td>効果測定</td></tr> </table>	1	文字入力の基礎1	2	文字入力の基礎2	3	ビジネス文書作成1（案内文）	4	ビジネス文書作成2（案内文）	5	ビジネス文書作成3（送付状）	6	ビジネス文書作成4（送付状）	7	ビジネス文書作成5（社内文書）	8	ビジネス文書作成6（社内文書）	9	ビジネス文書作成7（表作成）	10	ビジネス文書作成8（表作成）	11	ビジネス文書作成9（表作成）	12	ビジネス文書作成10（文章と表の組み合わせ）	13	ビジネス文書作成11（文章と表の組み合わせ）	14	ビジネス文書作成12（メール文章・メールの設定）	15	効果測定
1	文字入力の基礎1																														
2	文字入力の基礎2																														
3	ビジネス文書作成1（案内文）																														
4	ビジネス文書作成2（案内文）																														
5	ビジネス文書作成3（送付状）																														
6	ビジネス文書作成4（送付状）																														
7	ビジネス文書作成5（社内文書）																														
8	ビジネス文書作成6（社内文書）																														
9	ビジネス文書作成7（表作成）																														
10	ビジネス文書作成8（表作成）																														
11	ビジネス文書作成9（表作成）																														
12	ビジネス文書作成10（文章と表の組み合わせ）																														
13	ビジネス文書作成11（文章と表の組み合わせ）																														
14	ビジネス文書作成12（メール文章・メールの設定）																														
15	効果測定																														
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定の得点で評価																														
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律研究	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ	
授業の進め方	講義で与えられた課題について研究し、研究レポートを作成する	
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による弁護士としての実践的知識を基にした講義と実習	
授業計画	１	法律概論
	２	民法①（講義）
	３	民法課題研究
	４	民法②（講義）
	５	民法課題研究
	６	憲法①（講義）
	７	憲法②（講義）
	８	憲法課題研究
	９	行政法①（講義）
	１０	行政法②（講義）
	１１	行政法課題研究
	１２	刑法①（講義）
	１３	刑法課題研究
	１４	刑法②（講義）
	１５	刑法課題研究
成績評価方法 （試験実施方法）	研究成果をまとめたレポートの内容で評価	
成績評価基準	秀：９０点以上、優：８０点以上、良：７０点以上、可：６０点以上、不可：６０点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政研究	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	安心安全な街づくりに関する講義を受け、研究・発表を通じて防犯・防災への理解を深める	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	防犯・防災の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	大分県警生活安全企画課による防犯・防災に関する実務経験を基にした講義と実習	
授業計画	1	防犯・防災対策の枠組み（講義）
	2	防犯・防災対策の実例（講義）
	3	課題研究 1
	4	課題研究 2
	5	課題研究 3
	6	課題研究 4
	7	課題研究 5
	8	課題研究 6
	9	研究発表シナリオ作成 1
	10	研究発表シナリオ作成 2
	11	研究発表準備 1
	12	研究発表準備 2
	13	研究発表プレゼンテーション
	14	研究発表プレゼンテーション
	15	プレゼンテーションのフィードバック講義
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評を基に評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定1級に合格する	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語1
	2	訓読み・送り仮名・熟語2
	3	同音異義・異字同訓
	4	誤字訂正、類義語・反対語
	5	漢字の意味・使い方1
	6	漢字の意味・使い方2
	7	漢字の意味・使い方3
	8	ことわざ・故事成語・慣用句 1
	9	ことわざ・故事成語・慣用句 2
	10	特殊な漢字の読み書き1
	11	特殊な漢字の読み書き2
	12	項目別模擬試験1
	13	項目別模擬試験2
	14	直前模擬試験1
	15	直前模擬試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	経理実務
実務家教員授業	授業担当：アイデア総研税理士法人
学部・学科	公務員２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 経理・総務の年間カリキュラム 2 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座預金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理1 7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理2 8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理3 9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理4 10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理5 11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理6 12 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務1 13 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務2 14 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務3 15 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）1 16 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）2 17 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）3 18 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）1 19 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）2 20 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）3 21 個人住民税の徴収及び納付1 22 個人住民税の徴収及び納付2 23 印紙税の基礎知識 24 受取利息の会計処理 25 消費税法の概要1 26 消費税法の概要2 27 消費税の会計処理 28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）1 29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）2 30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）3
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	給与計算実務	
実務家教員授業	授業担当：イデア総研税理士法人	
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	所得税の基礎知識1
	2	所得税の基礎知識2
	3	所得税の基礎知識3
	4	年末調整のしかた1
	5	年末調整のしかた2
	6	年末調整のしかた3
	7	法定調書の流れ1
	8	法定調書の流れ2
	9	法定調書の流れ3
	10	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出1
	11	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出2
	12	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出3
	13	労働保険の概要及び会計処理1
	14	労働保険の概要及び会計処理2
	15	労働保険の概要及び会計処理3
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容		
授業科目	財務会計		
実務家教員授業			
学部・学科	公務員2年制学科		
履修年次	2年次		
開講学期	通年		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	90時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義		
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る		
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1 外貨建会計① 2 外貨建会計② 3 外貨建会計③ 4 外貨建会計④ 5 リース取引① 6 リース取引② 7 リース取引③ 8 リース取引④ 9 キャッシュ・フロー計算書① 10 キャッシュ・フロー計算書② 11 キャッシュ・フロー計算書③ 12 キャッシュ・フロー計算書④ 13 キャッシュ・フロー計算書⑤ 14 キャッシュ・フロー計算書⑥ 15 税効果会計① 16 税効果会計② 17 税効果会計③ 18 税効果会計④ 19 税効果会計⑤ 20 税効果会計⑥ 21 退職給付会計① 22 退職給付会計② 23 退職給付会計③ 24 退職給付会計④ 25 退職給付会計⑤ 26 消費税法① 27 消費税法② 28 消費税法③ 29 消費税法④ 30 消費税法⑤	31 消費税法⑥ 32 消費税法⑦ 33 消費税法⑧ 34 消費税法⑨ 35 消費税法⑩ 36 法人税法① 37 法人税法② 38 法人税法③ 39 法人税法④ 40 法人税法⑤ 41 法人税法⑥ 42 法人税法⑦ 43 法人税法⑧ 44 法人税法⑨ 45 法人税法⑩	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	マーケティング概論
実務家教員授業	
学部・学科	公務員２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	マーケティングの必要性和目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 顧客満足① 2 顧客満足② 3 マーケティングの必要性① 4 マーケティングの必要性② 5 情報収集と分析① 6 情報収集と分析② 7 流通チャネル① 8 流通チャネル② 9 プロモーション① 10 プロモーション② 11 財務知識① 12 財務知識② 13 事例研究① 14 事例研究② 15 確認テスト① 16 成功事例から学ぶマーケティング 17 成功事例から学ぶマーケティング 18 成功事例から学ぶマーケティング 19 成功事例から学ぶマーケティング 20 成功事例から学ぶマーケティング 21 成功事例から学ぶマーケティング 22 成功事例から学ぶマーケティング 23 成功事例から学ぶマーケティング 24 成功事例から学ぶマーケティング 25 成功事例から学ぶマーケティング 26 成功事例から学ぶマーケティング 27 成功事例から学ぶマーケティング 28 成功事例から学ぶマーケティング 29 成功事例から学ぶマーケティング 30 成功事例から学ぶマーケティング
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	卒業研究・発表	
実務家教員授業		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト	
特記		
授業計画	1	企画作成①
	2	企画作成②
	3	企画作成③
	4	企画作成④
	5	企画作成⑤
	6	中間発表①
	7	中間発表②
	8	企画のブラッシュアップ①
	9	企画のブラッシュアップ②
	10	企画のブラッシュアップ③
	11	企画のブラッシュアップ④
	12	企画のブラッシュアップ⑤
	13	企画のブラッシュアップ⑥
	14	企画のブラッシュアップ⑦
	15	企画のブラッシュアップ⑧
	16	オンラインプレゼン方法①
	17	オンラインプレゼン方法②
	18	オンラインプレゼン方法③
	19	企画のブラッシュアップ⑨
	20	企画のブラッシュアップ⑩
	21	企画のブラッシュアップ⑪
	22	企画のブラッシュアップ⑫
	23	企画のブラッシュアップ⑬
	24	企画のブラッシュアップ⑭
	25	企画のブラッシュアップ⑮
	26	企画のブラッシュアップ⑯
	27	企画発表（校内）①
	28	企画発表（校内）②
	29	企画発表（企業向け）①
	30	企画発表（企業向け）②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
授業科目	販売知識基礎			
実務家教員授業				
学部・学科	公務員 2 年制学科			
履修年次	2 年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	9 0 時間			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	販売員の役割①	31	商業集積④
	2	販売員の役割②	32	商業集積⑤
	3	販売員の役割③	33	商業集積⑥
	4	販売員の法廷知識①	34	小売業のマーケティング①
	5	販売員の法廷知識②	35	小売業のマーケティング②
	6	販売員の法廷知識③	36	小売業のマーケティング③
	7	小売業の計数管理①	37	小売業のマーケティング④
	8	小売業の計数管理②	38	小売業のマーケティング⑤
	9	小売業の計数管理③	39	小売業のマーケティング⑥
	10	店舗管理①	40	顧客満足経営①
	11	店舗管理②	41	顧客満足経営②
	12	店舗管理③	42	顧客満足経営③
	13	店舗管理④	43	顧客満足経営④
	14	店舗管理⑤	44	顧客満足経営⑤
	15	店舗管理⑥	45	確認テスト
	16	流通における小売業①		
	17	流通における小売業②		
	18	流通における小売業③		
	19	流通における小売業④		
	20	流通における小売業⑤		
	21	流通における小売業⑥		
	22	組織形態別小売業①		
	23	組織形態別小売業②		
	24	組織形態別小売業③		
	25	店舗形態別小売業①		
	26	店舗形態別小売業②		
	27	店舗形態別小売業③		
	28	商業集積①		
	29	商業集積②		
	30	商業集積③		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％ 講義後のチェックテストの解答状況			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
授業科目	販売知識応用			
実務家教員授業				
学部・学科	公務員２年制学科			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	９０時間			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	リテールマーケティング検定３級レベルの知識を理解し身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	証券の設定と出店①	31	商品計画①
	2	証券の設定と出店②	32	商品計画②
	3	証券の設定と出店③	33	商品計画③
	4	リージョナルプロモーション①	34	販売計画及び仕入れ計画①
	5	リージョナルプロモーション②	35	販売計画及び仕入れ計画②
	6	リージョナルプロモーション③	36	販売計画及び仕入れ計画③
	7	顧客志向型売り場づくり①	37	価格設定①
	8	顧客志向型売り場づくり②	38	価格設定②
	9	顧客志向型売り場づくり③	39	価格設定③
	10	ストアオペレーション①	40	在庫管理①
	11	ストアオペレーション②	41	在庫管理②
	12	ストアオペレーション③	42	在庫管理③
	13	ストアオペレーション④	43	販売管理①
	14	ストアオペレーション⑤	44	販売管理②
	15	ストアオペレーション⑥	45	確認テスト
	16	梱包技術①		
	17	梱包技術②		
	18	梱包技術③		
	19	ディスプレイ①		
	20	ディスプレイ②		
	21	ディスプレイ③		
	22	商品①		
	23	商品②		
	24	商品③		
	25	マーチャンダイジング①		
	26	マーチャンダイジング②		
	27	マーチャンダイジング③		
	28	マーチャンダイジング④		
	29	マーチャンダイジング⑤		
	30	マーチャンダイジング⑥		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％ 講義後のチェックテストの解答状況			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
授業科目	ITパスポート基礎			
実務家教員授業				
学部・学科	公務員2年制学科			
履修年次	2年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	90時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	社会人として必要な情報技術の専門用語の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	企業活動①	31	ソフトウェア①
	2	企業活動②	32	ソフトウェア②
	3	法務①	33	ハードウェア
	4	法務②	34	ヒューマンインターフェース
	5	経営戦略マネジメント①	35	マルチメディア
	6	経営戦略マネジメント②	36	データベース①
	7	技術戦略マネジメント①	37	データベース②
	8	技術戦略マネジメント②	38	データベース③
	9	ビジネスインダストリ①	39	ネットワーク①
	10	ビジネスインダストリ②	40	ネットワーク②
	11	システム戦略①	41	ネットワーク③
	12	システム戦略②	42	セキュリティ①
	13	システム企画①	43	セキュリティ②
	14	システム企画②	44	セキュリティ③
	15	システム開発技術①	45	確認テスト
	16	システム開発技術②		
	17	ソフトウェア開発管理技術①		
	18	ソフトウェア開発管理技術②		
	19	プロジェクトマネジメント		
	20	サービスマネジメント①		
	21	サービスマネジメント②		
	22	システム監査①		
	23	システム監査②		
	24	基礎理論①		
	25	基礎理論②		
	26	アルゴリズムとプログラミング①		
	27	アルゴリズムとプログラミング②		
	28	コンピュータ構成要素①		
	29	コンピュータ構成要素②		
	30	システム構成要素		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	ITパスポート・リテラシ演習	
実務家教員授業		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	問題演習と復習演習を行い、知識定着を図る	
達成目標	基本的な情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ITリテラシ演習①
	2	ITリテラシ演習②
	3	ITリテラシ演習③
	4	ITリテラシ演習④
	5	ITリテラシ演習⑤
	6	ITリテラシ演習⑥
	7	ITリテラシ演習⑦
	8	ITパスポート演習①
	9	ITパスポート演習②
	10	ITパスポート演習③
	11	ITパスポート演習④
	12	ITパスポート演習⑤
	13	ITパスポート演習⑥
	14	ITパスポート演習⑦
	15	ITパスポート演習⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	ITパスポート応用
実務家教員授業	
学部・学科	公務員2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	基礎レベルではやや難しい情報技術の考え方を問題を演習を通じて学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	ITパスポートレベルの情報技術知識の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ITパスポート総まとめ① 2 ITパスポート総まとめ② 3 ITパスポート総まとめ③ 4 ITパスポート総まとめ④ 5 ITパスポート総まとめ⑤ 6 ITパスポート総まとめ⑥ 7 ITパスポート総まとめ⑦ 8 ITパスポート総まとめ⑧ 9 ITパスポート総まとめ⑨ 10 ITパスポート総まとめ⑩ 11 ITパスポート総まとめ⑪ 12 ITパスポート総まとめ⑫ 13 ITパスポート総まとめ⑬ 14 ITパスポート総まとめ⑭ 15 ITパスポート総まとめ⑮ 16 ITパスポート総合問題対策① 17 ITパスポート総合問題対策② 18 ITパスポート総合問題対策③ 19 ITパスポート総合問題対策④ 20 ITパスポート総合問題対策⑤ 21 ITパスポート総合問題対策⑥ 22 ITパスポート総合問題対策⑦ 23 ITパスポート総合問題対策⑧ 24 ITパスポート総合問題対策⑨ 25 ITパスポート総合問題対策⑩ 26 ITパスポート総合問題対策⑪ 27 ITパスポート総合問題対策⑫ 28 ITパスポート総合問題対策⑬ 29 ITパスポート総合問題対策⑭ 30 ITパスポート総合問題対策⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容			
授業科目	FP基礎			
実務家教員授業				
学部・学科	公務員２年制学科			
履修年次	２年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	１２０時間			
授業コマ数	６０コマ			
授業概要	日常生活に関わる様々な「お金」の知識を身につける			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	ＦＰ３級の基礎知識を理解し、日常生活に関わる様々な「お金」の知識を身につけ、説明できるようになる。また、資産運用や管理、そのリスクについて簡単に説明できるようになる			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	１	ライフプランニングと資金計画①	31	タックスプランニング①
	２	ライフプランニングと資金計画②	32	タックスプランニング②
	３	ライフプランニングと資金計画③	33	タックスプランニング③
	４	ライフプランニングと資金計画④	34	タックスプランニング④
	５	ライフプランニングと資金計画⑤	35	タックスプランニング⑤
	６	ライフプランニングと資金計画⑥	36	タックスプランニング⑥
	７	ライフプランニングと資金計画⑦	37	タックスプランニング⑦
	８	ライフプランニングと資金計画⑧	38	タックスプランニング⑧
	９	ライフプランニングと資金計画⑨	39	タックスプランニング⑨
	10	ライフプランニングと資金計画⑩	40	タックスプランニング⑩
	11	ライフプランニングと資金計画⑪	41	タックスプランニング⑪
	12	ライフプランニングと資金計画⑫	42	タックスプランニング⑫
	13	リスク管理①	43	不動産①
	14	リスク管理②	44	不動産②
	15	リスク管理③	45	不動産③
	16	リスク管理④	46	不動産④
	17	リスク管理⑤	47	不動産⑤
	18	リスク管理⑥	48	不動産⑥
	19	リスク管理⑦	49	不動産⑦
	20	リスク管理⑧	50	不動産⑧
	21	リスク管理⑨	51	不動産⑨
	22	金融資産運用①	52	相続・事業承継①
	23	金融資産運用②	53	相続・事業承継②
	24	金融資産運用③	54	相続・事業承継③
	25	金融資産運用④	55	相続・事業承継④
	26	金融資産運用⑤	56	相続・事業承継⑤
	27	金融資産運用⑥	57	相続・事業承継⑥
	28	金融資産運用⑦	58	相続・事業承継⑦
	29	金融資産運用⑧	59	相続・事業承継⑧
	30	金融資産運用⑨	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	FP応用	
実務家教員授業		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	6 0 時間	
授業コマ数	3 0 コマ	
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、知識定着を図る	
達成目標	問題演習により F P 3 級の基礎知識を定着させる	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画問題演習①
	2	ライフプランニングと資金計画問題演習②
	3	ライフプランニングと資金計画問題演習③
	4	ライフプランニングと資金計画問題演習④
	5	ライフプランニングと資金計画問題演習⑤
	6	ライフプランニングと資金計画問題演習⑥
	7	リスク管理問題演習①
	8	リスク管理問題演習②
	9	リスク管理問題演習③
	10	リスク管理問題演習④
	11	金融資産運用問題演習①
	12	金融資産運用問題演習②
	13	金融資産運用問題演習③
	14	金融資産運用問題演習④
	15	タックスプランニング問題演習①
	16	タックスプランニング問題演習②
	17	タックスプランニング問題演習③
	18	タックスプランニング問題演習④
	19	タックスプランニング問題演習⑤
	20	タックスプランニング問題演習⑥
	21	不動産問題演習①
	22	不動産問題演習②
	23	不動産問題演習③
	24	不動産問題演習④
	25	不動産問題演習⑤
	26	相続・事業承継問題演習①
	27	相続・事業承継問題演習②
	28	相続・事業承継問題演習③
	29	相続・事業承継問題演習④
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	FP総合	
実務家教員授業	—	
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	9 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	「お金」に関する総合的な知識を深め、経済社会との関係性を理解する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	F P 3 級に合格できるレベルの知識を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画①（応用編）
	2	ライフプランニングと資金計画②（応用編）
	3	ライフプランニングと資金計画③（応用編）
	4	リスク管理①（応用編）
	5	リスク管理②（応用編）
	6	金融資産運用①（応用編）
	7	金融資産運用②（応用編）
	8	タックスプランニング①（応用編）
	9	タックスプランニング②（応用編）
	10	タックスプランニング③（応用編）
	11	不動産①（応用編）
	12	不動産②（応用編）
	13	相続・事業承継①（応用編）
	14	相続・事業承継②（応用編）
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	Word基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身につける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	文章の作成1
	2	文章の作成2
	3	文章内の移動1
	4	文章内の移動2
	5	文章の書式設定1
	6	文章の書式設定2
	7	文章の書式設定3
	8	文章の書式設定4
	9	オプションの設定、表示のカスタマイズ1
	10	オプションの設定、表示のカスタマイズ2
	11	オプションの設定、表示のカスタマイズ3
	12	オプションの設定、表示のカスタマイズ4
	13	文章の印刷、保存1
	14	文章の印刷、保存2
	15	文章の印刷、保存3
	16	文章の印刷、保存4
	17	文字列・段落の挿入1
	18	文字列・段落の挿入2
	19	文字列・段落の挿入3
	20	文字列・段落の挿入4
	21	文字列・段落の書式設定1
	22	文字列・段落の書式設定2
	23	文字列・段落の書式設定3
	24	文字列・段落の書式設定4
	25	文字列・段落の書式設定5
	26	文字列・段落の並び替え、グループ化1
	27	文字列・段落の並び替え、グループ化2
	28	文字列・段落の並び替え、グループ化3
	29	文字列・段落の並び替え、グループ化4
	30	文字列・段落の並び替え、グループ化5
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員授業		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループディスカッションとは①
	2	グループディスカッションとは②
	3	グループディスカッションの役割①
	4	グループディスカッションの役割②
	5	抽象テーマ型グループディスカッション①
	6	抽象テーマ型グループディスカッション②
	7	抽象テーマ型グループディスカッション③
	8	課題解決型（問題解決）グループディスカッション①
	9	課題解決型（問題解決）グループディスカッション②
	10	課題解決型（問題解決）グループディスカッション③
	11	KJ法①
	12	KJ法②
	13	資料読み取り型グループディスカッション①
	14	資料読み取り型グループディスカッション②
	15	資料読み取り型グループディスカッション③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理1
	2	文章の作成と管理2
	3	文章の作成と管理3
	4	表作成の基本操作1
	5	表作成の基本操作2
	6	表作成の基本操作3
	7	表、画像、図形を使った文書の作成（２）1
	8	表、画像、図形を使った文書の作成（２）2
	9	表、画像、図形を使った文書の作成（２）3
	10	見やすく使いやすい表にする編集操作1
	11	見やすく使いやすい表にする編集操作2
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作3
	13	見やすく使いやすい表にする編集操作4
	14	見やすく使いやすい表にする編集操作5
	15	見やすく使いやすい表にする編集操作6
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	パソコン実習Ⅲ	
実務家教員授業		
学部・学科	公務員２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	Word：長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel：目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成と管理1
	2	文書の作成と管理2
	3	文書の作成と管理3
	4	数式・関数を活用した集計表の作成1
	5	数式・関数を活用した集計表の作成2
	6	数式・関数を活用した集計表の作成3
	7	ワークシート間の集計1
	8	ワークシート間の集計2
	9	ワークシート間の集計3
	10	グラフの基本1
	11	グラフの基本2
	12	グラフの基本3
	13	目的に応じたグラフの作成と編集1
	14	目的に応じたグラフの作成と編集2
	15	目的に応じたグラフの作成と編集3
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	公務員2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能検定1・2級に合格する	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓実践演習1
	3	電卓実践演習2
	4	電卓実践演習3
	5	電卓実践演習4
	6	電卓実践演習5
	7	電卓実践演習6
	8	電卓実践演習7
	9	電卓実践演習8
	10	電卓実践演習9
	11	電卓実践演習10
	12	電卓実践演習11
	13	電卓実践演習12
	14	電卓実践演習13
	15	電卓実践演習14
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	英会話入門	
実務家教員授業		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	出会った時のあいさつ
	2	初対面の人と話す
	3	人を紹介する
	4	別れる時のあいさつ
	5	お礼を言う
	6	おわびをする
	7	依頼する
	8	許可を求める
	9	賛成・同意する
	10	反対・否定する
	11	聞き返す
	12	あいづちをうつ
	13	発話①
	14	発話②
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記・実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業前特別講座	
実務家教員		
学部・学科	公務員 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	キャリア講演会①
	2	敬語講座①
	3	ビジネスマナー研修①
	4	キャリア講演会②
	5	キャリア講演会③
	6	敬語講座②
	7	ビジネスマナー研修②
	8	キャリア講演会④
	9	キャリア講演会⑤
	10	敬語講座③
	11	ビジネスマナー研修③
	12	キャリア講演会⑥
	13	キャリア講演会⑦
	14	敬語講座④
	15	振返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		